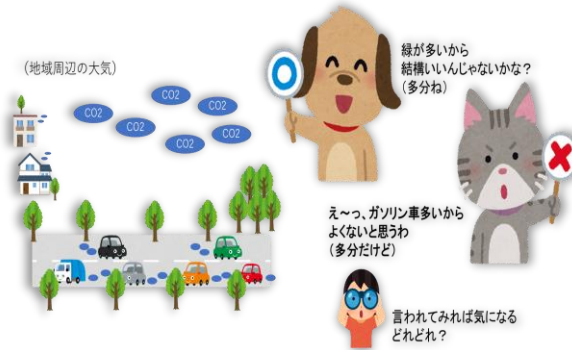


『CO2濃度の見える化プロジェクト』

～地域情報発信（地域で共有、世界へ発信）～

■CO2濃度、私たちの周りはどうなっているの？



■CO2濃度見える化IoTシステム(センサー/無線/クラウド)



■ 地域住民の方への情報共有 (CO2濃度の見える化)



<実施内容>

庁舎屋上や各地区公共施設屋上へ観測装置を設置し、リアルタイムでCO2濃度情報を公開しています

<情報の利用方法>

脱炭素により、カーボンニュートラル状態（CO2濃度の上昇停止）へ向かっていることを確認しましょう

2015年、パリ協定で採択された気温上昇2°C未満の達成に向けて皆で協力しましょう
⇒ CO2濃度：年平均450ppm程度（430～480ppm）にする必要があると言われています

濃度が高い場合、カーボンマイナス対策を行いましょう

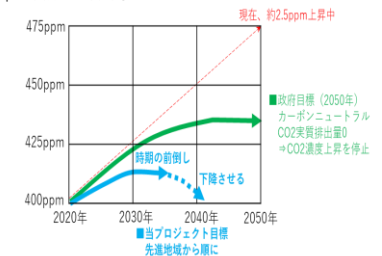
- ⇒ ひとりひとりの脱炭素行動
- ⇒ 植林（光合成によるCO2吸収）
- ⇒ CO2回収システム（Direct Air Capture等）の設置

<目標>カーボンニュートラル時期の前倒し

2050年、CO2実質排出量0（排出量と吸収量が均衡）の時期を前倒す。

<指標> CO2濃度を計測指標とする（上昇から停止・下降へ）

現在、年に約2.5ppm単調に上昇中。



東京都江戸川区でテスト実施中です

[区役所本庁舎屋上で大気中の二酸化炭素濃度の測定をしています](#)
[江戸川区ホームページ \(city.edogawa.tokyo.jp\)](#)



区役所で測定しています
(CO2濃度観測装置の写真です)

<https://www.city.edogawa.tokyo.jp/e086/kurashi/kankyo/ondanka/co2sokutei.html>

株式会社テレリアル

お問合せ：

(メール) info@telereal.co.jp (Webフォーム) <https://telereal.co.jp/contact/>